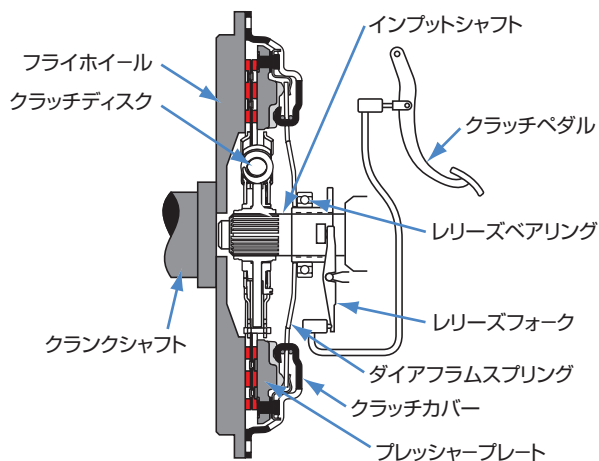




3 クラッチの作動図

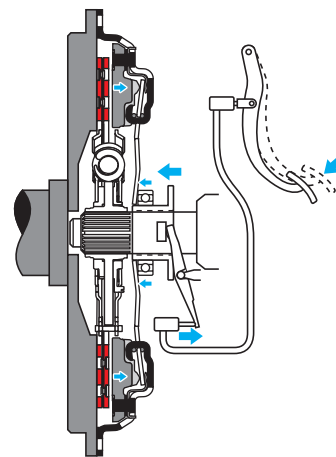
現在、最も多く使われているものは乾燥単板式摩擦クラッチと呼ばれ、クラッチカバーアッセンブリ、クラッチディスクアッセンブリ、フライホイールの3つの部門から成り立っています。フライホイールと押し板(クラッチカバーアッセンブリの中のプレッシャープレート)との間に1枚の摩擦板(クラッチディスクアッセンブリ)を挟み、プレッシャープレートを、押し付けたり、離したりすると、エンジン動力が伝達されたり、切れたりするしくみになっています。

エンジン側



クラッチペダルを離している時
(エンジン動力が伝達されている時)

トランスミッション側



クラッチペダルを踏んだ時
(エンジン動力が遮断されている時)

クラッチの基本構造は、クラッチカバーASS'Y(プレッシャープレート・クラッチスプリング、リリースレバーなど)、クラッチディスクASS'Y、フライホイール、リリースベアリング、リリースフォークなどから成り立っており、クラッチディスクは、フライホイールとプレッシャープレートの間において、メインドライブシャフト(インプットシャフト)によりトランスミッションギヤに接続されています。